

全体会①（協議会委員及び保護者）

○副校長 挨拶

第1回協議会の委員の皆様の強い希望を受け、保護者の方にも参加を依頼し、協議会委員の築紫さんを含めて5人の参加につながった。

○運営協議会 委員長挨拶（福田様）

先日、門池地区では痛ましい事故が起こった。だが、私たちが地域を守ること、子どもを守ることに  
は変わらない。

この愛鷹分校の学校運営協議会は、昨年度は分校の全職員が参加できた。今年度は第1回協議会の議  
論から、保護者の方の参加も実現できた。地域、学校、保護者とみなで力を合わせてこの学校の運営  
に携われるようにしたい。

○日程説明（実施計画参照）

○本日参加の方紹介

学校評議員会委員の皆様と、ワーク地域先で生徒が学習している万葉の湯 谷井様、介護施設ふれあ  
い岡宮 森様、矢崎エナジーシステム向笠様にご参加いただいている。

○愛鷹分校の地域での学習について（米山）

ワーク地域、ワーク工房などについて紹介

○グループごとの話し合い

ワーク地域先活動紹介（分校職員）

協議：地域との関わりで大切にしたいこと、今後取り組みたいこと

○全体会②（参加者全員）

協議内容の共有

A グループ：地域の方や相手の企業の方と挨拶ができることが大切

仕事をする上での基本的な態度を身に付ける、学校で学んだことを地域や企業で生かす  
ことで、働く態度を身に付ける。

学校の教員だけではなく、他社からも評価される重要な機会。

企業は学びの場を提供するだけでなく、生徒から学ぶことも多い。

今後は、企業の方と関わる時間を増やし、アドバイスや改善策をいただく機会があると  
ありがたい。

B グループ：高校生のうちから企業に出させてもらっていることは良い機会となっている。職種を知  
り、進路選択へのよい機会にし、自己理解にもつなげていくようにしたい。

ワーク地域の経験を職場実習や職場体験などに返していく。

外部からの評価は生徒たちにとって大切である。

生徒たちの良さをわかってもらうことや、社会に出るまでに自信をもたせるようにした

い。

実体験できる場として、より充実させていきたい。

具体的な作業の様子などが写真やインスタグラムなどで確認できると、企業へのアピールや家庭での会話につながる。

外部評価、他者評価は大切。助言・指導・言葉掛けなどを増やす。日頃から、その場で行ってもらうことで本人たちの自信や家庭での会話につながれると良い。

家庭、企業、教育それぞれの立場から発信や充実させる取り組みを積極的に行えると良い。

Cグループ：生徒とワーク地域先との直接的な交流が成功体験につながる。失敗したとしても、ワーク地域先の方から改善策をもらったり、教師や友達と考えたりして失敗を次につなげていける。

生徒たちのことを知ってもらえること、仕事先として受け入れてもらえること、そして生徒が貢献することが大事。

地域の方にもっと知ってほしいと考えたときに、城北高校の保護者の方にも愛鷹分校を知ってほしい。作業製品をとおしてできるとよい。

単発ではなく、持続的に継続的にしていくことが大切。ワーク地域先でワーク工場の製品を販売するなどのコラボが増えるとよい。

コラボが増えることや生徒の学びにつながることで、生徒の学習が点から線になるように。

Dグループ：各企業（ワーク地域先）で特色のある取り組みがされている。だが、仕事としては一人で仕事ができること、報告や相談などができることが大切  
企業で働く大変さを保護者は知ってほしいと考えている  
企業側もこれまでと同じでよいか、考える機会となった。